

平成27年度 地域医療介護総合確保基金事業一覧

資料2-3

事業 番号	事業名	事業の概要	実施区域	事業の実施主体	事業実施圏域							
					豊能	三島	北河内	中河内	南河内	泉州	大阪市	堺市
I 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業												
1	病床機能分化・連携を推進するための基盤整備事業（地域包括ケア病床・緩和ケア病床への転換）	急性期から回復期、在宅医療に至るまで、一連のサービスを地域において総合的に確保するため、病床の機能分化、連携を推進するための施設・設備の整備を行う。	府域全域	府内各病院			●	●			●	
2	がん診療施設設備整備事業	医療機関に対し、がんの医療機器（マンモグラフィー・内視鏡・エコー等）の整備に伴う設備整備費に対し支援する。	府域全域	医療機関	●	●	●	●		●	●	●
3	在宅歯科医療機器整備事業	在宅歯科医療実施のために必要な機器（在宅歯科医療機器（在宅訪問歯科診療専用パッケージ、訪問歯科診療支援ポータブルシステム、ポータブルレントゲン機器、訪問歯科（居宅用）水流式歯ブラシ））を各地区の実情に応じて整備する。	府域全域	大阪府歯科医師会	●	●	●	●	●	●	●	●
4	精神科病院への機器整備事業	一般救急病院において一定の処置を終えた患者を身体合併症支援病院（新設）が受け入れた際に、院内において必要な検査等を行うためのハード面の整備に対する補助を行う。	府域全域	精神科病床を有する医療機関	●		●	●		●		●
5	地域医療機関ＩＣＴ連携整備事業	地域診療情報ネットワークの導入や拡大によって、圏域内に必要な医療機関の機能分化および病診連携の推進を図る。地域診療情報ネットワークの導入や拡充に必要な機器整備、工事費等の初期経費を支援する。	府域全域	医療機関	●		●		●		●	
6	救急搬送・受入体制強化システム改修事業	救急搬送された患者の病院後情報収集や、救急搬送が困難になっている患者の受け入れ体制強化に向けて、救急・災害医療情報システム及びORION（救急搬送・情報収集・集計分析システム）の改修を行う。	府域全域	大阪府（NTTデータ関西に委託）	—	—	—	—	—	—	—	
7	地域救急医療システム推進事業	高齢化の進展や疾病構造の変化など医療をとりまく環境の変化に対応した、二次救急医療を支える人材を確保するため、救急研修拠点施設を中心に、医師の救急初期診療能力の資質向上を図る体制を立ち上げる。（H27-28 2ヶ年事業）	府域全域	府内の医学部設置大学	●						●	
8	訪問看護ネットワーク事業（訪問看護ステーションの機能強化に向けた設備整備等）	複数の訪問看護ステーションや訪問看護と介護、医療機関等が相互に連携する事業を支援・強化することにより、訪問看護の安定的な供給を実現し、もって訪問看護サービスの向上を図ることを目的とする。	府域全域	大阪府訪問看護ステーション協会、大阪府	—	—	—	—	—	—	—	

